

【点検シート】(担当課実施結果)

【評価シート】

1. 代替性

1. 代替性

① 法定施設(法令上の設置の義務がある施設)ですか？
 【法令で定められ、制度改正も見込んだ上で、今後もそのまま継続して管理運営する必要があるか】

ア. 法令上設置が義務付けられていますか(必置施設ですか)？
 はい いいえ

イ. 法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、継続して管理運営する必要がありますか？
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)
 i 社会環境の変化、制度改正の見込み、を明記した上で、この施設個別の理由、判断根拠を記述してください。

本市における家庭児童相談件数は、平成28年度は777件、平成29年度は1,010件、平成30年度2,412件で増加傾向にあり、そのうちの91.5%が家族関係の相談であった。(そのうち伯方小学校区居住者からの相談件数は13件であった。)そのうちの91.5%が家族関係の相談である。一方、伯方児童館に寄せられた家庭相談件数は、平成30年度は57件であった。伯方児童館は、今治市児童館条例に基づき対象者を0～18歳までの児童及びその保護者としており、伯方小学校区の児童及び保護者のほか、大三島と大島の島嶼部に加え、波止浜、朝倉など陸地部を含む市内全域から来館者を迎え、市内全域を対象とした児童福祉施設として、今治市子ども・子育て支援事業計画における基本的な視点である「子どもを育てる環境」、「子どもが育つ環境」、「子育て、子育てを支えるまちづくり」を実現するために、伯方児童館においては、「子育て支援」、「子ども健全育成」、「地域福祉」を3本柱とした取り組みを行っている。

項目① 法定施設(法令上の設置の義務がある施設)ですか？

(絶対的評価)

		評価基準	
設問1 (70-Q1)	法令上設置が義務付けられていますか。(必置施設ですか)	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>

(相対的評価)

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2 (70-Q5)	法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、今後も現状のまま管理運営するにあたり必要性について検証できていますか。	現状を理解して具体的に検証できている	一定の評価ができる検証ができている	抽象的ではあるが検証できている	検証できていない「代替性あり」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)

		評価基準	
設問3	今後も必置施設であり続ける見込み、また、今後必置施設になる見込みはありますか。	ある <input type="checkbox"/>	ない <input checked="" type="checkbox"/>

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

② この施設が提供するサービスについて、市が提供しなければならない法令上の規制又は、専門性・特殊性がありますか？

【この施設の提供するサービスは何か】
 【このサービスを『市が』主体となって提供する理由は何か。(民間に同種のサービスはないか)】
 【このサービスを『この施設で』提供する理由は何か。(他の施設で実施することはできないか)】

ア. この施設の目的を達成するために、この施設で『どのようなサービス』を提供していますか？
 また、そのために設置している特別な設備はありますか？

児童に対しては、「集団遊び」や「体験活動」を通じた児童健全育成活動を実施している。子育て世代に対しては、育児や家庭問題等の相談対応や子育て世代同士の交流の場の提供を行っている。

イ. 「ア」のうち、『市が提供しなければならない』法令上の規制や義務付けのあるサービスがありますか？

ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 法令上の規制や義務付けのあるサービス名を記入してください。

ii 法令名等を記入してください。また、その該当箇所の条文を抜粋してください。

法令名等 () 第 条 項 号
 (条文抜粋)

ウ. 「ア」のうち、(この施設個別の事情は考慮せず)『市が提供しなければならない』専門性又は特殊性のあるサービスがありますか？

ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i そのサービス名、理由・根拠を明確に、また民間が提供主体になれない理由と合わせて記入してください。
 (ここでは、市がサービス提供主体であることの必要性を検証します。実際のサービス提供者が市、指定管理者等であるか、またサービス提供の場がこの施設であるか否かは関係ありません)

伯方児童館においては、教員や保育士等の専門資格を取得した児童厚生員を配置し、児童健全育成と子育て支援及び地域福祉を実施している。児童健全育成については、専門知識に基づき、児童の発達段階や家庭環境に応じた指導や対応を行っている。子育て支援に関しても、専門知識に基づき、育児相談などを行っている。また伯方児童館においては、過疎化が進む島嶼部において、唯一の子育て支援施設としての機能を担っている。これら施策は、教育委員会、子育て支援課、健康推進課、警察、児童相談所等、主に行政機関との連携が不可欠であり、連携のための法的な手続きがスムーズであること、また法改正や国や県の指導方針に基づき、毎年予算を確保しながら進めていく必要があることから、サービス提供主体は市であることが望ましい。

エ. 「ア」のうち、法令上の規制や専門性・特殊性の有無に関わらず、市が、『この施設を用いて』提供しなければならないサービスがありますか？

ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i そのサービス名、理由について明確に、また他の(市あるいは民間等の)施設で提供できない理由と合わせて記入してください。

サービス名：こども健全育成、子育て支援、地域福祉 理由：この施設を用いて行わなければならない理由について、伯方児童館は過疎化が進む島嶼部唯一の子育て支援施設である。対象者は0～18歳の児童とその保護者であり、児童のそれぞれの発達段階に応じた指導が必要となり、対応は広範囲に及ぶものである。これらの対象年齢児童を区別することなく一括対応できる施設は、児童福祉法に規定されている施設の中では、児童館だけである。また平成30年度に伯方小学校区から子育て支援課家庭相談室に寄せられた相談件数は13件で、伯方児童館に寄せられた相談件数は57件であった。伯方児童館は伯方地域の子育て支援拠点として、伯方地域に必要な施設である。

【評価シート】

1. 代替性

項目② この施設が提供するサービスについて、市が提供しなければならない法令上の規制又は、専門性・特殊性がありますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	この施設が提供するサービスについて、市が提供しなければならない法令上の規制又は、専門性・特殊性について、具体的に提示し、検証できていますか。	具体的な業務等が提示され、根拠も示されている	具体的な業務等が提示されているが根拠が示されていない	業務等の内容が具体的に提示できていない	業務等の内容が全く提示できていない 「代替性あり」	施設の性質上議論できない
(絶対的評価)		評価基準				
設問2 (70-Q3)	施設が提供するサービスについて、『市が提供しなければならない』法令上の規制又は、専門性・特殊性がありますか。	ある	ない			
(相対的評価)		評価基準				
設問3 (70-Q6)	施設が提供するサービスについて、『この施設を用いて』提供しなければならない根拠等を具体的に提示し、検証できていますか。	根拠等が具体的に提示され、適切に検証されている	根拠等が具体的に提示されているが、検証が不十分である	根拠等は提示されているが、検証ができていない	根拠等が提示できてなく、検証もできていない 「代替性あり」	施設の性質上議論できない

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

③ この施設に広域性又は、拠点性がありますか？
 【この施設が対象とする範囲区分(ゾーン)が定められているか】
 【範囲区分(ゾーン)内に同種の施設がない、あるいは、範囲区分(ゾーン)内にある同種の施設の中でも核として位置づけられる施設か】

ア. この施設に範囲区分が定められていますか？
 はい いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

i この施設はどの範囲区分(ゾーン)を対象にしていますか？
 市全体 陸地部(全体)又は島しょ部(全体) 中学校区 その他

ii 「その他」の場合は、この施設の範囲区分(ゾーン)について 具体的に記入してください。
 主に伯方小学校区

iii 範囲区分(ゾーン)を対象とした判断基準は何ですか？(「その他」の場合は、判断基準を記入してください。)
 交通機関 利用者の年齢 利用実態のデータ
 その他 ()

iv この範囲区分(ゾーン)を対象とした、判断基準の理由・根拠について、明確に記述してください。
 (社会環境等の変化により、公共施設が担う役割(意義)も変化していくと考えますが、その中でこの施設の性質も踏まえた上で根拠を記述してください。)

いじめ、虐待、子どもの貧困、育児の孤立化など、子どもや子育て世代を取り巻く環境は悪化の一途を辿っている。伯方児童館は、今治市全域における子育てワンストップ拠点として、問題把握や情報の整理分析に努め、また関係機関との連携をコーディネートすることで問題解決に繋げている。来館者名簿にて居住地を把握している。約90%が伯方小学校区居住、校区外は10%程度で大島、大三島の島嶼部を始め、波止浜や朝倉など市内全域からの通常来館者がいる。

イ. この施設に広域性がありますか？
 (「広域性」…一定程度の広い範囲区分(ゾーン)を対象としていること。今治市域全体、または県内、国内全域などを範囲区分(ゾーン)としている場合、「広域性がある」といえます。)
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 広域性があると判断した理由・根拠について明確に、また他施設(市あるいは民間)の設置状況も踏まえて記入してください。
 今治市児童館条例に基づき、利用対象者は、今治市に居住する18歳未満の児童とされている。また、伯方児童館の通常利用者のうち、校区内居住者の来館は約90%で、校区外は10%であった。伯方児童館においては、校区外の保護者からの育児相談も受け付け、また校区外の学校とも連携を図りながら、市内全域における子育て支援や子ども健全育成を行っている。

ウ. この施設に拠点性がありますか？
 (「拠点性」…対象とする範囲区分(ゾーン)の中で拠点としての性質があり、機能の面で核としての位置づけがされていること。)
 ある ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 拠点性があると判断した理由・根拠について明確に、また他施設(市あるいは民間)の設置状況も踏まえて記入してください。
 伯方児童館は、児童福祉法及び今治市児童館条例に基づき児童健全育成に取り組んでいる。伯方児童館においては、専門職員を配置し、児童の健全育成や子育て世代に対するサポートを行っている。また伯方小学校、同校PTA、公民館、保育所等と連携を図ることで、子育て環境の充実に努めている。伯方児童館は「地域の子育て拠点」として、地域の子育て情報や問題解決のノウハウが集約される仕組みを形成している。

【評価シート】

1. 代替性

項目③ この施設に広域性又は、拠点性がありますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	この施設の設置目的や役割において、範囲区分(ゾーン)の基準が適切ですか。	広域性(拠点性)の検証にあたって、施設の規模、機能、利用状況や利用者に応じて具体的な事例が提示できている	<input checked="" type="checkbox"/> 広域性(拠点性)の検証にあたって、施設の規模、機能、利用状況や利用者に応じた実態把握ができています	広域性(拠点性)の検証にあたって、ゾーニングはできている	広域性(拠点性)の検証にあたって、ゾーニングできていない 「代替性あり」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q4)	この施設に広域性又は、拠点性がありますか。	ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

④ 施設の設置根拠、目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の市有施設と競合していませんか？
 【範囲区分(ゾーン)内で、他の市の施設と設置根拠、設置目的、施設機能が競合していないか】
 【近隣の市有施設に、設置根拠、設置目的を変更すれば施設機能の面で代用可能な施設はないか】

ア. 近隣の市有施設と競合していませんか？
 (条例等における設置根拠や目的と、施設内の個別の機能について検討してください。設置根拠、設置目的、施設機能のうち、いずれかでも競合していない場合は「競合していない」と回答してください。)

☒ 競合していない 競合している

競合していない理由、あるいは競合している理由を、設置根拠、設置目的、施設機能ごとに、記述してください。

i 設置根拠……条例、法令等(何に基づき設置されたか)
 児童福祉法第35条第3項及び今治市児童館条例に基づき設置された児童館は対象ゾーンでは当館だけである。

ii 設置目的……条例上の目的、あるいは実目的(何のために設置されたか)
 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進するとともに情操を豊かにするために設置された児童館は対象ゾーンでは当館だけである。

iii 施設機能……施設の個別の設備や部屋が有している機能(その施設で何ができるか)
 図書室・工作室においては、読書のほか工作指導などを行っている。乳幼児では乳幼児に対する遊びの提供を行っている。遊戯室では、運動遊びなどを行っている。なかよし広場では宿題などを行っている。準備室では育児相談を実施している。これら機能を有する施設(児童館)は対象ゾーンでは当館だけである。

(「競合している」と回答した場合は必ずリストを作成してください。)
 ※「実績シート」【施設の概要(競合施設リスト含む)】に記入してください。

⑤ 施設の設置目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の民間等の施設と競合していませんか？
 【範囲区分(ゾーン)内で、民間等の施設と設置目的、施設機能が競合していないか】
 【近隣の民間等の施設に、施設機能の面で代用可能な施設はないか】

ア. 近隣の民間等(市有施設以外)の施設と競合していませんか？
 (設置目的、施設機能のうち、いずれかでも競合していない場合は「競合していない」と回答してください。)

☒ 競合していない 競合している

競合していない理由、あるいは競合している理由を、設置目的、施設機能ごとに、記述してください。

i 設置目的……条例上の目的、あるいは実目的(何のために設置されたか)
 今治市児童館条例にいう児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進するとともに情操を豊かにするための施設は市施設以外にない。

ii 施設機能……施設の個別の設備や部屋が有している機能(その施設で何ができるか)
 図書室・工作室においては、読書のほか工作指導などを行っている。乳幼児室では乳幼児に対する遊びの提供を行っている。遊戯室では、運動遊びなどを行っている。なかよし広場では宿題などを行っている。準備室では育児相談を実施している。

(「競合している」と回答した場合は必ずリストを作成してください。)
 ※「実績シート」【施設の概要(競合施設リスト含む)】に記入してください。

【評価シート】

1. 代替性

項目④ 施設の設置根拠、目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の市有施設と競合していませんか？

(絶対的評価)		評価基準	
設問1 (70-Q6)	近隣の市有施設と、設置根拠が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問2 (70-Q8)	近隣の市有施設と、設置目的が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問3 (70-Q7)	近隣の市有施設と、施設機能が競合していませんか。	☒ いない	いる

項目⑤ 施設の設置目的、施設機能が近隣(③で考えるゾーニング内)の民間等の施設と競合していませんか？

(絶対的評価)		評価基準	
設問1 (70-Q8)	近隣の民間等の施設と、設置目的が競合していませんか。	☒ いない	いる
設問2 (70-Q7)	近隣の民間等の施設と、施設機能が競合していませんか。	☒ いない	いる

【点検シート】(担当課実施結果)

1. 代替性

⑥ この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？
 【施設が無くなると、地域住民の生活にどのような影響を及ぼすか？】

ア. この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？

✗ 及ぼす	及ぼさない
-------	-------

イ この施設が無くなると、市民生活にどのような影響を与えることになるか記述してください。
 (与える影響範囲、影響する内容及び影響すると考える対象者について、具体的な数値を示した上で明記してください。
 また、施設が無くなった場合にどのような対応が想定されるか具体的に記述してください。)

(与える影響範囲(対象者含む))	(影響する内容・根拠)
児童	学校や家庭に居場所がなく「児童館」を頼ってくる子どもが大勢いる。児童館が無くなった場合、支援が必要な子どもに対する健全育成が難しくなる。平成30年度の児童来館者数は、延べ9,775人であった。子どもからの相談件数は0件であった。これについては、児童館職員が、日々の業務の中で、子どもたちとの信頼関係を構築し、重篤な相談ケースに至る前に対応しているためである。
子育て世代	伯方児童館においては、子育て世代の育児等に関する相談を受け付けているほか、子育て世代同士の交流の場を提供している。児童館が無くなった場合、これらの受け皿がなくなり、「育児の孤立化」が進むことになる。平成30年度の子育て世代の来館人数は延べ5,216人、相談件数は57件であった。一方平成30年度の伯方小学校区から子育て支援課家庭相談室に寄せられた相談件数は13件あり、伯方児童館が無くなった場合、子育て世代が相談できる場が減り、本市における子育て支援サービスの低下に繋がる懸念がある。

【評価シート】

1. 代替性

項目⑥ この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	この施設が無くなると、市民生活においてどの程度影響を及ぼしますか。	重大な影響を及ぼす	✗ 一定程度の影響を及ぼす	若干の影響を及ぼす	及ぼさない「代替性あり」	施設の性質上議論できない
設問2	この施設が無くなった場合の市民生活に与える影響について、その内容、対象者、根拠等が具体的に示されていますか。	具体的かつ的確に示されている	✗ 一定程度の具体性は示されている	影響の内容は示されている	影響の内容が示されていない「代替性あり」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問3 (70-Q2)	この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか。	✗ 及ぼす	及ぼさない

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

① 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか？
 【条例等に定める施設の設置目的に対し、達成すべき目標を数値で設定し、その目標に対する成果が得られているか】
 【これまでの成果を検証し、随時その目標を見直し、施設を有効に活用するための検証が行われているか】

ア. 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定していますか？
 設定している 設定していない

イ. 短期(年間)目標及び長期(複数年)目標を数値化していますか？
 数値化している 数値化していない

ウ. 短期(年間)目標の結果を踏まえて、短期及び長期目標を変更していますか？
 変更している 変更していない

エ. 数値目標に対する成果について、随時検証していますか？
 また、そのことに対する成果が得られていますか？
 (達成度(成果)の検証方法について、具体的に記入してください。検証時期及び頻度、取組内容、得られた成果についても必ず踏まえた上で記載してください。)

年度当初に運営方針を定め、それを月間目標に落とし込みPDCAサイクルを繰り返しながら、月間目標や日々の行動計画に修正を加えている。また児童館連絡会では他児童館からの意見を踏まえながら目標達成に努力している。平成30年度の来館者数は14,991人で、前年度より若干の減少であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

【評価シート】

2. 有効性

項目① 施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	数値目標を定期的かつ柔軟に変更しながら、その達成度について検証していますか。	数値目標の達成について検証し、数値目標を変更している	数値目標を変更していないが、達成度について検証できている	数値目標を変更しておらず、達成度についても検証できていない	数値目標を変更する必要性について検証していない、又は目標を数値化していない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2	数値目標に対する成果が得られていますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問3 (70-Q8)	施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている	得られていない

② 今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？
 【施設が設置目的のとおり、今後も引き続き利用される見込みがあるか】

ア. 条例等に定める施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？
 終えていない 終えている

イ. 役目を終えていない理由(引き続き利用が見込まれる理由)、または終えていると判断する理由を記述してください。
 (利用状況や利用者の要望ではなく、社会状況や国の指針、市の各種計画、市民ニーズにより、この施設の社会的役割が今後も求められているかどうかを問います。施設設置当時と現在の状況について、社会状況や市民ニーズの変化、利用者動向等を踏まえて具体的に記述してください。)

地域コミュニティの衰退等により、子ども達や子育て世代を取り巻く環境は悪化の一途を辿っている。そういった中、地域と連携を図り、地域コミュニティを再生することで、子ども達の安全領域を拡大していく必要がある。また、平成30年度は子育て支援体制の強化策として、利用者支援事業を活用し、子育てコーディネーターを定期的に児童館に派遣することで相談機能の充実を図った。

項目② 今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	施設の役目を終えていない理由について、具体的な内容が示されていますか。	具体的に示され、かつ内容を検証できている	理由を具体的に提示できている	理由が抽象的ではあるが提示できている	理由が示されていない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q6)	施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていませんか。	<input checked="" type="checkbox"/> 終えていない	終えている

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑤ 施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか？

【施設の設置目的が現在の市民のニーズに適合しているか】
 【社会状況の変化(施設を取り巻く状況の変化、国の指針等の変更など)により、施設の設置当時と比べて求められる役割が変わっていないか】

ア. 条例等に定める『施設の設置目的』が、社会状況、市民ニーズ、時代の変化に適合していますか？

✕ 適合している 適合していない

i 施設の設置当時と現在を比較して、社会状況や市民ニーズを『どのように把握』し、その結果『どのように変わってきている(いない)』か、利用者動向等を踏まえて記述してください。
 また、社会状況や市民ニーズが変わってきている場合は、設置目的と適合させるために『どのような取組』を行っているか、具体的に記述してください。(「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。)

・条例・規則等の改正 ・事業計画等での位置づけ ・運営指針の見直し等

平成30年6月3日(日)に、子育て世代に対して実施した「じどうかん☆バリっこフェスタアンケート」の中で、「今治市で子育てをするうえで不足しているもの」について、子育て世代より、「室内の遊び場」(児童館など)との回答が最も多かった。また、平成30年度の子育て支援課子ども家庭相談室への伯方校区からの相談件数は13件であったことに対して、伯方児童館における相談件数は57件であったことから設置目的が社会的ニーズや市民ニーズに適合しているといえる。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑤ 施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	常にニーズに適合するための取組をしていますか。	取組が効果的であり、利用者動向からもその成果が顕著に現れている	取組により、利用者動向から一定の成果がみられる	取り組んでいるものの、利用者動向に成果が表れていない	取組が十分でない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q2)	施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか。	✕ している	していない

⑥ 施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか？(硬直化していませんか)

【利用者が利用しやすい(利用者ニーズに対応した)施設であるか】
 【利用者動向や満足度を調査・検証し、定期的に管理運営方法の見直し(検証)が行われているか】

ア. 利用目的(利用者ニーズ)の変化に応じて、市民が利用しやすい、効果的な管理運営を行うため、現状の管理運営体制や規則等の柔軟な見直しが行われていますか。また、業務委託等の導入可能性、有効性(効果)が適切に分析(検証)できていますか？
 (直営の場合、将来的な指定管理者制度導入の可能性ではなく、現状の管理運営の有効性について点検してください。)

✕ 行われている 行われていない

(「行われている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 常に『柔軟に対応するための取組』を、次の内容を踏まえ具体的に記入してください。また、その効果の検証方法も合わせて具体的に記入してください。(「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。)

・満足度調査 ・利用者動向 ・現状の管理体制、管理方法 ・設置令規、運用規則の見直し
 ・見直しの時期、頻度

児童館では年度当初に目標設定を行い、毎月PDCAを行うことで検証を行っている。また、さらに毎月の児童館連絡会で他館からの意見も取り入れるようにしている。平成30年7月8日～29日の満足度調査(小・中学生及び高校生以上・保護者対象)で、卓球大会や外で遊べるゲームを増やしてほしいとの要望があったため、要望に応じたイベント企画を実施した。しかしながら、満足度調査において、サービスの満足度は、平成30年度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%で、平成29年度より、小・中学生は4.6%減少し、高校生・保護者は0.9%減少した。

項目⑥ 施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか？(硬直化していませんか)

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	常に硬直化しないための取組をしていますか。	取組が効果的であり、利用者動向からもその成果が顕著に現れている	取組により、利用者動向から一定の成果がみられる	取り組んでいるものの、利用者動向に成果が表れていない	取組が十分でない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問2 (70-Q4)	施設の管理運営が利用目的(利用者ニーズ)に対応し、柔軟で効果的に行われていますか。(硬直化していませんか)	✕ 行われている	行われていない

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑦ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？
 【利用目的(利用者ニーズ)に対応した柔軟で効果的な管理運営を行うため、現在の管理運営主体が適切かどうか、民間ノウハウの活用等の可能性も含めて検証しているか】

ア. 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？

適切である 適切でない

i 「適切である」あるいは「適切でない」と判断した理由について、次の内容を踏まえ、現状の管理運営主体の検証と合わせて具体的に記述してください。
 (直営の場合、単に採算性がないことだけを適切である理由とはせず、市民サービスの向上の観点から、適切な管理運営主体についてどのように検証したか、これまでの検討経緯を記入してください。)

・満足度調査 ・利用者動向 ・現状の管理体制 ・他自治体の状況 ・人員配置
 ・業務の専門性・特殊性 ・地理的条件

平成29年8月23日(水)に、他市指定管理施設の視察を行った。コスト面については今治市よりも割安であったが、館内外のイベント回数や地域イベントへの出展回数、地域団体等との連携回数は、今治市の方が他市を上回っていた。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑦ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか？

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	(相対的評価)	問題点が具体的に列挙され、適切に検証されていますか。	問題点が具体的に列挙されているが、検証が不十分である	問題点は提示できているが、検証ができていない	問題点が提示できてなく、検証もできていない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
	(絶対的評価)	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 適切でない		

⑧ 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？

ア. 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？
 (ただし、法令により利用者が限られる場合や、入所施設など一定の基準により入所者が適切に選定されている場合は偏っているとはみなしません)

偏っていない 偏っている

(「偏っている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 団体(個人)名及びその活動内容を記入してください。

団体(個人)名	
活動内容	

ii 一番利用率の高い団体(個人)は、どれ位の割合を占めていますか。

%

項目⑧ 施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか？

		評価基準	
		いない	いる
設問1 (70-Q3)	施設の利用が特定の個人、団体に極端(1~2団体が利用の5割以上)に偏っていませんか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問2	特定の利用者に対し、適切な負担を求めていますか。	負担を求める額が適切に算定されている	算定されている	算定されているが求める負担が十分でない	負担を求めている「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問3	施設を利用している特定団体が、地域に特別な貢献をしていますか。	活動内容が公の施設を利用するに相応しく、かつ、地域振興への貢献が顕著である	活動内容が公の施設を利用するに相応しく、かつ、地域振興へ貢献している	活動内容が公の施設を利用するに相応しいものの、地域振興への貢献度は今後の取組み次第である	活動内容が公の施設を利用するに相応しくない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

【点検シート】(担当課実施結果)

2. 有効性

⑨ 施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか？
 【利用者が求める利便性や使いやすさを把握し、それに適応できているか】
 【利用者の要望や苦情に対する改善はしているか。また、施設の状況や利用者の声を、施設現場・支所・本庁間等で情報共有できているか】

ア. 利用者の求める利便性や使いやすさに適応できていますか？
 ✕ 適応できている 適応できていない
 (「適応できている」と回答した場合は必ず記入してください。)
 利用者の求める利便性や使いやすさに適応するために取り組んでいる内容を具体的に記入してください。
 「何を、いつ、どのように、その効果」について必ず明記してください。
 (「適応できていない」と回答した場合)
 一部でも取り組んでいる内容・効果、またはできていない理由を具体的に記入してください。

i 利用者の要望・意見を収集する方法、実績、効果
 館内にてアンケート実施(平成30年7月8日～29日)、玄関ロビーに意見箱を設置、要望にあったイベントの実施や図書を購入などを行った。しかしながら、満足度調査では、平成30年度のサービスに関する満足度は小・中学生は80%で、平成29年度の84.6%と比べ、4.6%減であった。高校生・保護者は94.5%で平成29年度の95.4%と比べ、0.9%減であった。平成30年度の来館人数は14,991人で、平成29年度の15,325人と比べて、334名の減であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

ii トラブル防止や、苦情に対する改善策などの取組、効果
 窓口に苦情受付箱を設置している。来館者が多い時間帯は全員で接客にあたり、安全管理やトラブル防止に細心の注意を払っている。新規来館者に対しては、職員が1名以上つき、施設案内や利用方法等の説明を丁寧に行っている。平成30年度中の苦情トラブル件数は0件であった。

iii 現場、支所、本庁間で、施設の状況や利用者の声、トラブルの情報を共有する体制や方法、効果
 毎月、児童館連絡会を開催し、市内7児童館での情報共有及び連携強化に努めている。また要支援ケースについては、学校や警察、民生児童委員、医療機関、子育て支援課の家庭相談室や健康推進課と連携を図っている。平成30年度は情報共有ミスによるトラブル件数は0件であった。

iv 利用者や利用団体等に対して行っている情報発信の内容及び方法、効果
 子育て支援課HPに「館だより」を掲載している。Webサイト「イマナニ」にイベント情報を投稿している。おでかけ児童館で児童館パンフレットを配布している。市内企業に児童館ポスターの掲示をお願いしている。しかしながら、満足度調査においては、サービスの満足度は、平成30年度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%で、平成29年度より、小・中学生は4.6%減少し、高校生・保護者は0.9%減少した。延利用人数は、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

【評価シート】

2. 有効性

項目⑨ 施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか？

(相対的評価)		評価基準				
		3	2	1	0	-
設問1	利用者や利用団体等の意見を聞く機会を持っていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取組んでいるが、思った効果が得られていない	取組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問2	トラブル防止策や苦情に対する改善策が取られていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取組んでいるが、思った効果が得られていない	取組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問3	現場、支所、本庁間で情報の共有ができていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取組んでいるが、思った効果が得られていない	取組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない
設問4	利用者や利用団体等に適切な情報の発信ができていますか。	取組により、効果が上がっている	✕ 取組により、一定の水準を満たしている	取組んでいるが、思った効果が得られていない	取組んでいない「有効性なし」	施設の性質上議論できない

(絶対的評価)		評価基準	
設問5 (70-05-1、5-2)	施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか。	✕ はい	いいえ

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

① 利用実績や資源投入量を検証し、PDCAサイクルに基づく効率的な管理運営ができていますか？
 【利用実績や資源投入量について検証し、計画や方針等において改善策や評価指標、目標値を定め、かつ、客観的データを経年推移で確認し、管理運営の改善に取り組んでいるか】
 【改善すべき内容、達成すべき目標を定めた計画(Plan)に基づき、管理運営(Do)の実績をデータで確認・検証(Check)し、改善(Act)に取り組んでいるか。PDCAサイクルに基づいた管理運営ができていますか】

ア. 利用実績、資源投入量等のデータ、達成すべき目標及びその方策、プロセスを明記した「管理運営等改善計画(方針、公共施設等総合管理計画の個別施設計画も含む)」がありますか？

ある
 ない

(「ある」と回答した場合は必ず記入してください。)

i どのような内容の計画(方針等)ですか？ 該当するものをすべて チェック してください。

管理運営コストの見直し
 業務委託内容・範囲の見直し
 人員配置の見直し
 開館日・時間の見直し

イ. 「ア」で回答した計画・方針等に基づき、客観的データを経年推移で確認し、施設運営の改善に取り組んでいますか？

取り組んでいる
 取り組んでいない

(次の項目ごとに、「取り組んでいる内容」または「取り組んでいない理由」を記入してください)
 (「ア」の i でチェックした項目については、必ず取組内容等を記入してください)

客観的データを経年推移で確認した上で、「何を課題と捉え、どのような改善策(目標)を計画等に掲げ、どのように取り組み、その結果(効果)はどうであったか」について具体的に記入してください。

指定管理施設においても、仕様書や業務基準、指定管理料の積算見直しのほか、市と指定管理者との協議により取り組んだ内容を記入してください。

取り組んでいない場合も空欄とせず、「計画に定めていない、取り組んでいない」理由を記入してください。

i 「管理運営コスト」に関する計画内容、取組実績、効果

地域住民が夏祭りやクリスマス会の運営に協力してくれている。また地域住民に対して工作材料として使用する廃材(紙類、広告紙、ラップの芯、プラスチック、空き缶、リボン、ナイロン袋、ヨーグルトの容器)と古くなった図書などの提供を募った。その結果、消耗品費支出を平成29年度と同水準で堅持できた。またコピーの両面印刷を徹底することにより複写機使用料を前年度より43,912円削減した。これら取り組みにより平成30年度の伯方児童館の管理運営コストは平成29年度より4,000円削減された。

ii 「業務委託内容・委託範囲」に関する計画内容、取組実績、効果

管理運営計画には記載していないが、消防用設備点検、ごみ収集運搬業務について、仕様書を再考したうえで、指名競争入札に付し経費節減に努めた。また敷地内の樹木や草刈り作業については職員が実施することで経費節減に努めた。これら取り組みにより平成30年度の伯方児童館の歳出総額は平成29年度より4,000円削減された。

iii 「人員配置」に関する計画内容、取組実績、効果

愛媛県より開館中は2名以上の児童厚生員を配置するよう指導を受けており、人員配置を最少限度に抑えるなどの取り組みにより、平成30年度の伯方児童館の歳出総額は平成29年度より4,000円削減された。

iv 「開館日・時間」に関する計画内容、取組実績、効果

「対話の場」にて開館時間を延ばして利用人数を拡充する取り組みを検討したが、人件費の問題と健全育成上好ましくないとの意見があったことから、当面は現行体制を維持していく。

【評価シート】

3. 効率性

項目①		評価基準(評価点)					評価点
(相対的評価)		3	2	1	0	—	
設問 1	施設の利用実績のデータを収集し、活用していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
設問 2	施設の管理運営コストについて見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
設問 3	業務委託内容、委託範囲について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	0
設問 4	人員配置について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
設問 5	施設の開館日や開館時間について見直していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいるが、思った効果が得られていない	取り組んでいない「効率性なし」	対象外	2
(絶対的評価)		評価基準					
設問 6	計画・方針等に基づき、客観的データを経年推移で確認し、効率的な管理運営ができていますか。	できている	できていない				

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

② 施設の改修等を実施していますか？
 【耐用年数、老朽化の状況等を踏まえた長期的な視野に立った改修・改善、管理運営のための計画を策定しているか】
 【計画に基づき、ランニングコストの低減、利用者の利便性向上、施設の長寿命化等を図るための改修・改善を実施しているか】

ア. 長期的な管理運営計画がありますか？
 (策定済の場合、または策定中で策定年度が確定済みの場合のみ「ある」とし、策定(予定)年度を記入してください。)

ある	29	年度策定(予定)	ない
----	----	----------	----

イ. 長期的な改修計画がありますか？
 (策定済の場合、または策定中で策定年度が確定済みの場合のみ「ある」とし、策定(予定)年度を記入してください。)

ある		年度策定(予定)	ない
----	--	----------	----

ウ. 計画に基づき、ランニングコストの低減、利用者の利便性向上、施設の長寿命化等を目的とした改修・改善を実施していますか？

実施している	実施していない
--------	---------

(「実施している」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 具体的に「どのような」改修・改善をしましたか？
 (「何を目的として、何をどのように改修・改善し、その効果はどうであったか」具体的に記入してください。)
 (計画を策定済みであり、それに基づき当該年度は具体的な改修・改善を行っていない場合でも「実施している」を選択できますが、「改善を行っていない理由」や「今後どのような改善を行う予定か」決まっている範囲で記入してください。)

【評価シート】

3. 効率性

項目② 施設の改修等を実施していますか？

(絶対的評価)

		評価基準	
設問1	長期的な管理運営計画ありますか。	ある	ない
設問2	長期的な改修計画がありますか。	ある	ない

(相対的評価)

		評価基準(評価点)					評価点
		3	2	1	0	-	
設問3	ランニングコストの節減を考慮し、施設の改修等を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	0
設問4	利用者の利便性を考えた施設の改修等を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	0
設問5	施設の長寿命化のための改修を実施していますか。	取組により、効果が上がっている	取組により、一定の水準を満たしている	取り組んでいる(策定中含む)が、思った効果が得られていない	計画策定も含めて何も取り組んでいない「効率性なし」	対象外	-

(絶対的評価)

		評価基準	
設問6	施設等の改修等を実施していますか。	している	していない

③ 施設に係る借地料、地元協力金などの特殊な経費が掛かっていませんか？

ア. 特殊な経費が掛かっていませんか？

掛かっていない	掛かっている
---------	--------

(「掛かっている」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 具体的な特殊経費名を記入してください。

ii 特殊経費の算定根拠を具体的に記述してください。
 (特殊経費の必要性 市場価格との整合性及び その検証方法を明記した上で記入してください。)

項目③ 施設に係る借地料、地元協力金などの特殊な経費が掛かっていませんか？

(絶対的評価)

		評価基準	
設問1	特殊な経費が掛かっていませんか。	いない	いる

(相対的評価)

		評価基準(評価点)				評価点
		3	2	1	0	
設問2	特殊経費が必要ですか。	掛かっていない	効果があるため、特殊な経費が掛かっているが、適切な負担である	効果があるため、特殊な経費が掛かっているが、市場価格と比較して割高な負担である	特殊経費の負担について見直す必要がある「効率性なし」	3

【点検シート】(担当課実施結果)

3. 効率性

④ コストバランスを考慮した上で、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？
 【管理運営コストや利用者数等の各年度実績を踏まえ、利用率を上げるために施設運営の改善に努めているか】
 【市民が「利用したい」と思うようなニーズを把握し、それに応えられる施設運営の改善に努めているか】

ア. 施設の設置目的に沿った、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？
 ✕ 努めている 努めていない

(「努めている」と回答した場合は全項目に記入してください)
 (「努めていない」と回答した場合、下記のうち一部でも取り組みがある場合は記入してください。)
 下記の項目について「何を目的として、どのように取り組み、その効果はどうであったか」具体的に記入してください。満足度調査など利用者ニーズの把握方法と、取組後の反応も合わせて記入してください。
 (評価シートで取り組むことができない(対象外)を選択する場合は、その理由を記入してください。)

i 「接客方法の改善」について取り組んだ内容・実績・効果
 毎月児童館連絡会にて、児童厚生員に来館者対応について指導しているほか、職員間においても相互研修及び0JTを行っている。その結果、平成30年7月8日～29日に実施した満足度調査では、職員対応についての満足度について、小・中学生は86%、高校生・保護者は94.5%であった。平成29年度と比べて、小・中学生の満足度は4.5%上昇したが、高校生・保護者の満足度は0.9%の減少であった。また平成30年度の来館者数は14,991人であった。平成29年度の来館者数は15,325人であったことから334人の減少であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

ii 「満足度調査等の意見を反映したサービスの提供」について取り組んだ目的・内容・実績・効果
 満足度調査により要望のあった玩具や本の購入や「遊び」の企画を行った。その結果、満足度調査ではサービスに関する満足度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%であった。平成29年度と比べると、小・中学生が4.6%の減、高校生・保護者が0.9%の減少であった。平成30年度の来館者数は14,991人で、平成29年度の来館者は15,325人であったことから334人の減少であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

iii 「新しいサービスの提供」について取り組んだ目的・内容・実績・効果
 座禅体験や田植え体験、しめ縄づくりなど、地域と連携した館外活動を企画した。その結果、満足度調査ではサービスに関する満足度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%であった。平成29年度と比べると、小・中学生が4.6%の減、高校生・保護者が0.9%の減少であった。平成30年度の来館者数は14,991人で、平成29年度の来館者は15,325人であったことから334人の減少であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

iv 「料金体系の改善」について取り組んだ目的・内容・実績・効果
 利用者の大部分は児童であり、料金を徴収することは適切でない判断しているため、条例上は定めていない。

v 「リピーターの増加策」について取り組んだ内容・実績・効果
 新規来館者に対しては、職員が施設案内と利用方法を丁寧に説明している。また館内外にて、児童や保護者向けに様々なイベントを企画し、学校等でチラシを配布している。また、WEBサイトイマナニの活用やマイタウンに情報掲載を行うことで、リピーターの増加に努めている。その結果、満足度調査ではサービスに関する満足度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%であった。平成29年度と比べると、小・中学生が4.6%の減、高校生・保護者が0.9%の減少であった。平成30年度の来館者数は14,991人で、平成29年度の来館者は15,325人であったことから334人の減少であったが、目標の14,000人を991人上回る結果となった。

vi 「安全確保の改善」について取り組んだ内容・実績・効果
 毎月利用者とともに、防犯・消火・防災訓練を実施している。また開館中は、全部屋に職員を配置し、施設内における安全性を確保している。さらに施設や備品等の安全点検リストを作成し、開館前と閉館後には職員が複数名でチェックしている。加えて児童安全共済制度の加入と、災害非常食の備蓄を行っている。平成30年度の館内での事故発生は0件であった。

vii 「開館時間等の改善」について取り組んだ目的・内容・実績・効果
 「対話の場」にて開館時間を延ばして来館者数を拡充する取り組みを検討したが、人件費の問題と健全育成上好ましくないとの意見があったことから、当面現行体制を継続していくこととしている。

【評価シート】

3. 効率性

項目④ コストバランスを考慮した上で、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか？

(相対的評価)	評価基準(評価点)					評価点
	3	2	1	0	-	
設問1 適切な接客ができていますか。	取組により、満足度が高い	✕ 取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問2 満足度調査など利用者の意見を反映したサービスに努めていますか。	取組により、満足度が高い	✕ 取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問3 新しいサービスを、絶えず模索していますか。	取組により、満足度が高い	✕ 取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問4 適正価格の利用料金体系を模索していますか。	取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	✕ 取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	-
設問5 リピーターの増加策に取り組んでいますか。	取組により、満足度が高い	✕ 取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	2
設問6 利用者の安全確保に努めていますか。	✕ 取組により、満足度が高い	取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	3
設問7 開館日や開館時間の変更が柔軟に対応できていますか。	取組により、満足度が高い	✕ 取組により、満足度は一定の水準である	取組んでいるが、満足度が思うように上がっていない	取組が不十分である、又は、満足度等効果の評価ができない「効率性なし」	対象外	-

(絶対的評価)

設問8 施設の設置目的に沿った、利用率を上げるためのサービスの向上に努めていますか。	評価基準	
	いる	いない
✕		

【点検シート】(担当課実施結果)

4. PR性

① 施設のPRが今治市のイメージアップに貢献し、効果をもたらしていますか？
 【紙媒体やテレビ、ラジオなどのマスメディア、インターネット媒体などによって取り上げられた情報を把握できているか】
 【広くマスメディア等で取り上げられた情報が今治市の特徴的な施設としての認知度向上やイメージアップにつながり、結果として集客等のプラス効果をもたらしているか】

ア. テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか？
 〇 はい 〇 いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

i 当該年度を基準に、「どのような媒体に、いつ、どのように取り上げられたか」について、具体的に記述してください。

パッコフェスタが今治CATVにて放送された。(番組名：しとん?30 放送時間：30分 放送回数：12回)。(番組名：ICK NEWS 放送時間：15分 放送回数：5回)。(番組名：ICK NEWS DIGET 放送時間：30分 放送回数：5回) パッコフェスタがマイタウン5月号、愛媛新聞(平成30年6月4日)、読売新聞(平成30年6月4日)に掲載された。パッコフェスタが、Webサイト・イマナニ(株式会社エス・ピー・シー)で、特集記事が2回掲載された。また、おでかけ児童館(6月号)、リトミック(6月号)、なつまつり(7月号)、し・ま・の室内楽(9月号)、ハロウィンパレード(10月号)、ひとりがり(2月号)、おでかけ児童館(2月号)、あそび横丁(3月号)が掲載された。さらに、愛媛新聞に、田植え体験(5月14日号)、やぎ森山の活動(10月24日)、ハロウィンパレード(10月29日)、伯方中学生職場体験(1月12日)、あそび横丁(3月12日)が掲載された。

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

ii 取り上げられた内容等が持つPR力(影響を与える範囲)について、具体的に記入してください。

- ・テレビ(番組名(全国・ローカルの別を含む)、取り上げられた内容、放映された時間など)
- ・雑誌、新聞(名称(全国・ローカルの別を含む)、取り上げられた内容、記事量、発行部数、読者層など)

上記広告宣伝効果は、以下の通りである。
 今治CATV加入世帯数：17,000世帯、マイタウン発行部数：68,000部
 イマナニPV数：100,000PV/月 愛媛新聞発行部数：240,260部(平成31年2月時点) 読売新聞発行部数：70,390部(平成31年2月時点)

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください。)

iii 取り上げられた内容等がもたらす効果について、次の内容を踏まえ、具体的に記入してください。
 (利用者数、収入金額、問合わせ件数、満足度調査などの指標を挙げた上で、得られた効果を具体的に記述してください。)

満足度調査ではサービスに関する満足度は小・中学生は80%、高校生・保護者は94.5%であった。平成29年度と比べると、小・中学生が4.6%の減、高校生・保護者が0.9%の減少であった。平成30年度の来館者数は14,991人で、平成29年度の来館者は15,325人であったことから334人の減少であった。利用人数、満足度ともに同水準を堅守している。伯方児童館への集客効果は正確には集計していないが、聞き取りによると、記事を見て初めて来た来館者は少なくとも100名以上いる。(全館共通)令和元年度のパッコフェスタ出展者数は90社で平成30年度の74社より16社増え、市民参画の拡充に繋がった。

【評価シート】

4. PR性

項目①		施設のPRが今治市のイメージアップに貢献し、効果をもたらしていますか？					評価点
(相対的評価)		評価基準					
		3	2	1	0	-	
設問1	テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか。	頻繁、かつさまざまなマスメディア等に取り上げられている	継続的、あるいは一定程度、マスメディア等に取り上げられている	若干回数、マスメディア等に取り上げられている	マスメディア等に取り上げられることはほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	3
設問2	PR力(影響を与える範囲)について検証できていますか。	影響力の大きなマスメディア等で紹介され、PR力は非常に大きい	マスメディア等の影響の及ぶ範囲は限られているが、一定程度のPR力がある	若干のPR力がある	PR力はほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	1
設問3	PRの結果、集客等の具体的な効果をもたらしていますか。	非常に大きな効果をもたらしている	一定程度の効果をもたらしている	若干の効果をもたらしている	効果はほとんどない、又は把握できていない	施設の性質上議論できない	2

【点検シート】(担当課実施結果)

5. 市民参画

① 施設の管理運営計画の策定に市民(利用者)も参画して取り組んでいますか？
【今後の施設のあり方、管理運営の見直しについて、市民(利用者)と一緒に管理運営計画を策定しているか】

ア. 管理運営計画に市民(利用者)の意見が反映されていますか？
 はい いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください)
 i 市民対話、計画の策定方法等について、次の内容を踏まえ、具体的に記述してください。
 ・市民対話(開催単位、開催方法、周知方法、参加者、回数など)
 ・計画の策定方法(誰から、どのような意見を、どの程度反映し、どのように合意を得たか)など
 平成29年11月8日(水)に対話の場を実施(参加者18名伯方小学校長、伯方中学校長、伯方高校長、伯方小学校PTA、伯方地区母子会等)、平成30年1月9日(火)に、伯方地区民生児童委員会にて民生児童委員21名と意見交換を実施、児童館の開館時間やイベントの共同開催、コスト削減への取り組みなどについて合意のうえ、児童館管理運営計画に反映させた。

② 市民(利用者)共働のもと、施設の管理運営業務に取り組んでいますか？
【積極的に市民(利用者)が施設の管理運営業務に参画することで、サービスの質の向上、経費の削減等に結び付けているか】

ア. 市民(利用者)共働のもと、施設の管理業務に取り組んでいますか？
 はい いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください)
 i 施設の特性を踏まえ、市民(利用者)の協力が可能な内容(項目)を全て挙げた上で、具体的に記述してください。(何に、誰から、どのように、どのくらい協力が得られているかを明記してください。)
 不定期ではあるが、警察や地域住民が、伯方児童館の外回りの見回りをしてきている。

イ. 市民(利用者)共働のもと、施設の運営業務に取り組んでいますか？
 はい いいえ

(「はい」と回答した場合は必ず記入してください)
 i 施設が提供するサービスや事業の内容を踏まえ、市民(利用者)の協力が得られている内容(項目)について、具体的に記述してください。(何に、誰から、どのように、どのくらい協力が得られているかを明記してください。)
 地域住民が夏祭りやクリスマス会の運営に協力してくれている。地域住民がイベントで子どもに提供するプレゼントを提供してくれている。地域住民が工作材料として廃材(紙類、広告紙、ラップの芯、プラスチック、空き缶、リボン、ナイロン袋、ヨーグルトの容器)や古くなった図書などを提供してくれている。

【評価シート】

5. 市民参画

項目① 施設の管理運営計画の策定に市民(利用者)も参画して取り組んでいますか？
 項目② 市民(利用者)共働のもと、施設の管理運営業務に取り組んでいますか？

(相対的評価)		評価基準					評価点
		3	2	1	0	-	
設問1	管理運営計画に市民(利用者)の意見が反映されていますか。	利用者(市民)が主体となって計画を策定した <input checked="" type="checkbox"/>	市民(利用者)と共働して計画を策定した <input checked="" type="checkbox"/>	市民(利用者)の一定の関与のもと計画を策定した	市民(利用者)の意見を参考として計画を策定した、または市民(利用者)の合意が得られていない	施設の性質上議論できない	2
設問2	市民(利用者)共働のもと、施設の管理業務に取り組んでいますか。	内容、頻度ともに十分な協力が得られている <input checked="" type="checkbox"/>	内容と頻度を総合的に見て、一定程度の協力が得られている <input checked="" type="checkbox"/>	内容と頻度を総合的に見て、若干の協力が得られている	協力が得られていない	施設の性質上議論できない	2
設問3	市民(利用者)共働のもと、施設の運営業務に取り組んでいますか。	内容、頻度ともに十分な協力が得られている <input checked="" type="checkbox"/>	内容と頻度を総合的に見て、一定程度の協力が得られている <input checked="" type="checkbox"/>	内容と頻度を総合的に見て、若干の協力が得られている	協力が得られていない	施設の性質上議論できない	3

施設のあり方見直しのための「評価」

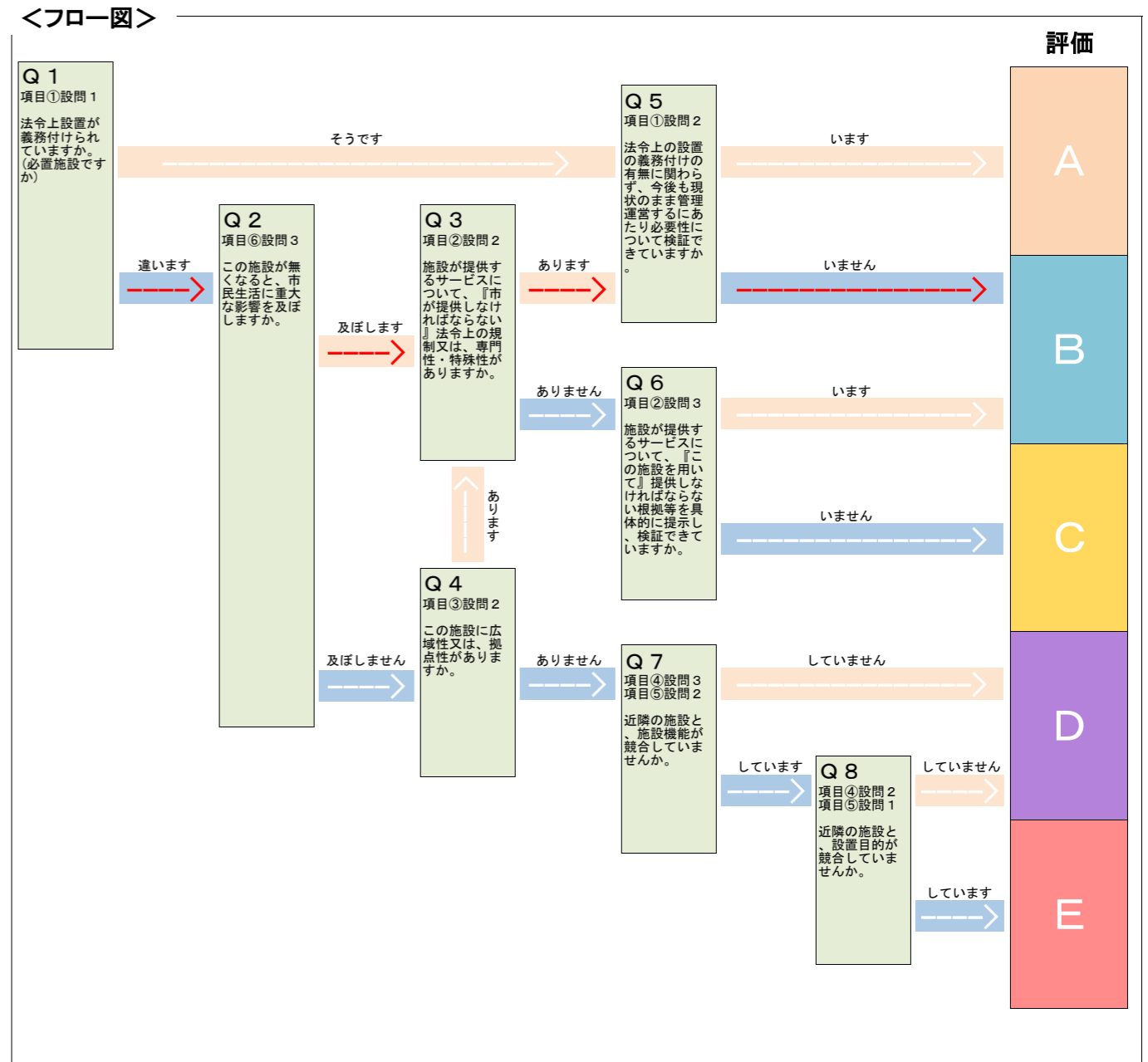
観点別 評価結果

代替性

フロー図 Q	観点別評価 対象項目		回答		(評価フロー図対応)
			YES	NO	
Q 1	項目①	設問 1 法令上設置が義務付けられていますか。 (必置施設ですか)	はい	いいえ	
Q 2	項目⑥	設問 3 この施設が無くなると、市民生活に重大な影響を及ぼしますか。	及ぼす	及ぼさない	
Q 3	項目②	設問 2 施設が提供するサービスについて、『市が提供しなければならない』法令上の規制又は、専門性・特殊性がありますか。	ある	ない	
Q 4	項目③	設問 2 この施設に広域性又は、拠点性がありますか。	ある	ない	
Q 5	項目①	設問 2 法令上の設置の義務付けの有無に関わらず、今後も現状のまま管理運営するにあたり必要性について検証できていますか。	現状を理解して具体的に検証できている	一定の評価ができる検証ができている	抽象的ではあるが検証できている
Q 6	項目②	設問 3 施設が提供するサービスについて、『この施設を用いて』提供しなければならない根拠等を具体的に提示し、検証できていますか。	根拠等が具体的に提示され、適切に検証されている	根拠等が具体的に提示されているが、検証が不十分である	根拠等が提示できてなく、検証もできていない「代替性あり」
Q 7	項目④	設問 3 近隣の市有施設と、施設機能が競合していませんか。	いない	いる	
	項目⑤	設問 2 近隣の民間等の施設と、施設機能が競合していませんか。	いない	いる	
Q 8	項目④	設問 2 近隣の市有施設と、設置目的が競合していませんか。	いない	いる	
	項目⑤	設問 1 近隣の民間等の施設と、設置目的が競合していませんか。	いない	いる	

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

フロー図 Q	【実績シート】	点検 確認	【点検シート】	点検 確認	【評価シート】
Q1	【法定施設・公の施設】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問1】
Q2	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】 【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目⑥】	⇒	【項目⑥】【設問3】
Q3	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問2】
Q4	【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】【設問2】
Q5	【法定施設・公の施設】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】【設問2】
Q6	【非常時等の利用】 【設置の経緯・目的】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】【設問3】
Q7	【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問3】
		⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】【設問2】
Q8	【設置の経緯・目的】 【施設の概要(競合施設リスト含む)【競合施設リスト】】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】【設問2】
		⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】【設問1】



代替性（観点別評価） B

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

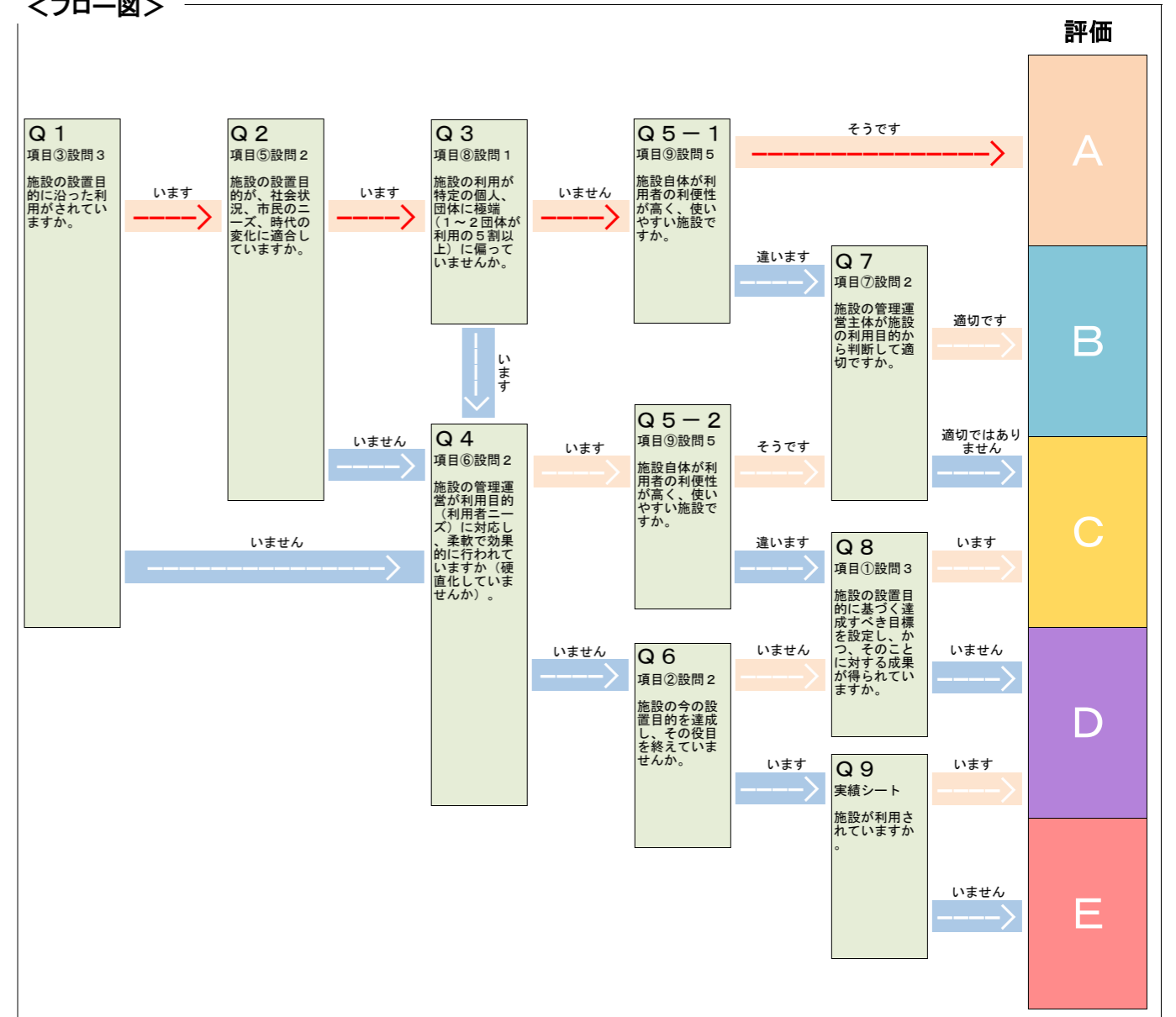
有効性

フロー図 Q	観点別評価 対象項目		回答 (評価フロー図対応)	
			YES	NO
Q 1	項目③	設問 3	施設の設置目的に沿った利用がされていますか。	はい いいえ
Q 2	項目⑤	設問 2	施設の設置目的が、社会状況、市民のニーズ、時代の変化に適合していますか。	している していない
Q 3	項目⑧	設問 1	施設の利用が特定の個人、団体に極端（1～2団体が利用の5割以上）に偏っていませんか。	いない いる
Q 4	項目⑥	設問 2	施設の管理運営が利用目的（利用者ニーズ）に対応し、柔軟で効果的に行われていますか（硬直化していませんか）。	行われている 行われていない
Q5-1 Q5-2	項目⑨	設問 5	施設自体が利用者の利便性が高く、使いやすい施設ですか。	はい いいえ
Q 6	項目②	設問 2	施設の今の設置目的を達成し、その役目を終えていますか。	終えていない 終えている
Q 7	項目⑦	設問 2	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切ですか。	適切である 適切でない
Q 8	項目①	設問 3	施設の設置目的に基づく達成すべき目標を設定し、かつ、そのことに対する成果が得られていますか。	得られている 得られていない
Q 9	「実績シート」		施設が利用されていますか。	されている されていない

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

フロー図 Q	【実績シート】	点検 確認	【点検シート】	点検 確認	【評価シート】
Q1	【設置の経緯・目的】 【施設の利用状況】〔うち目的内利用分〕、〔うち目的外利用分〕	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】〔設問3〕
Q2	【施設改修】 【施設の利用状況】〔うち目的内利用分〕、〔うち目的外利用分〕 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑤】	⇒	【項目⑤】〔設問2〕
Q3	【使用料金体系】 【施設の利用状況】	⇒	【項目⑧】	⇒	【項目⑧】〔設問1〕
Q4	【管理運営方法】 【使用料金体系】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑥】	⇒	【項目⑥】〔設問2〕
Q5	【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑨】	⇒	【項目⑨】〔設問5〕
Q6	【施設の利用状況】〔利用回数（件数）〕、〔延べ利用人数〕、〔実利用人数〕 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】〔設問2〕
Q7	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目⑦】	⇒	【項目⑦】〔設問2〕
Q8	【施設の利用状況の推移（年度実績）】 【評価指標の設定】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問2〕
Q9	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移（年度実績）】	⇒	—	⇒	—

<フロー図>



有効性（観点別評価） A

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

効率性

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価
1	項目① 設問2	施設の管理運営コストについて見直していますか。	2	56.4 %	D
2	項目① 設問4	人員配置について見直していますか。	2		
3	項目① 設問3	業務委託内容、委託範囲について見直していますか。	0		
4	項目④ 設問4	適正価格の利用料金体系を模索していますか。	-		
5	項目② 設問4	利用者の利便性を考えた施設の改修等を実施していますか。	0		
6	項目② 設問3	ランニングコストの節減を考慮し、施設の改修等を実施していますか。	0		
7	項目③ 設問2	特殊経費が必要ですか。	3		
8	項目① 設問1	施設の利用実績のデータを収集し、活用していますか。	2		
9	項目④ 設問2	満足度調査など利用者の意見を反映したサービスに努めていますか。	2		
10	項目④ 設問6	利用者の安全確保に努めていますか。	3		
11	項目① 設問5	施設の開館日や開館時間について見直していますか。	2		
12	項目④ 設問1	適切な接客ができていますか。	2		
13	項目④ 設問5	リピーターの増加策に取り組んでいますか。	2		
14	項目④ 設問3	新しいサービスを、絶えず模索していますか。	2		
計			22		
対象外質問数			1		

●得点率：評価点計/(3点×(14問-対象外質問数))

◆観点別評価方法（「実績」⇒「点検」⇒「評価」）

質問	【実績シート】	点検確認	【点検シート】	点検確認	【評価シート】
1	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問2〕
2	【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問4〕
3	『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問3〕
4	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問4〕
5	【施設改修】	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】〔設問4〕
6	『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』	⇒	【項目②】	⇒	【項目②】〔設問3〕
7	【土地基礎データ】	⇒	【項目③】	⇒	【項目③】〔設問2〕
8	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問1〕
9	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問2〕
10	【施設の利用状況の推移(年度実績)】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問6〕
11	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】 【施設の利用状況の推移(年度実績)】 【評価指標の設定】 『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』	⇒	【項目①】	⇒	【項目①】〔設問5〕
12	【施設の利用状況】 【施設利用者の把握】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問1〕
13	【施設の利用状況の推移(年度実績)】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問5〕
14	『資源投入量』『配置人員』『歳入』『歳出』『行政コスト』『単位当たりコスト』 【満足度調査及び情報提供状況】	⇒	【項目④】	⇒	【項目④】〔設問3〕

効率性	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	80% 以上90%未満
C	60% 以上80%未満
D	20% 以上60%未満
E	20% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

P R 性

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価
1	項目①	設問1	テレビや雑誌、新聞などのマスメディア等に取り上げられていますか。	3	66.7 % C
2	項目①	設問2	PR力（影響を与える範囲）について検証できていますか。	1	
3	項目①	設問3	PRの結果、集客等の具体的な効果をもたらしていますか。	2	
計			6		
対象外質問数			0		

●得点率：評価点計 / (3点 × (3問 - 対象外質問数))

P R 性	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	70% 以上90%未満
C	50% 以上70%未満
D	30% 以上50%未満
E	30% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

観点別 評価結果

市民参画

質問	観点別評価 対象項目		評価点	得点率	評価
1	項目①・②	設問1 管理運営計画に市民（利用者）の意見が反映されていますか。	2	77.8 %	B
2	項目①・②	設問2 市民（利用者）共働のもと、施設の管理業務に取り組んでいますか。	2		
3	項目①・②	設問3 市民（利用者）共働のもと、施設の運営業務に取り組んでいますか。	3		
計			7		
対象外質問数			0		

●得点率：評価点計 / (3点 × (3問 - 対象外質問数))

市民参画	
評価	評価基準（得点率）
A	90% 以上
B	70% 以上90%未満
C	50% 以上70%未満
D	30% 以上50%未満
E	30% 未満

施設のあり方見直しのための「評価」

総合評価 結果

総合評価

観点		観点別 評価結果	観点別 評価基準点	プラス 評価率	観点別 評価点数	総合評価 得点率	総合評価
基本観点	代替性	B	3	× 10	30	77.6%	C-
	有効性	A	4	× 5	20		
	効率性	D	1	× 4	4		
プラス観点	PR性	C	2	× 1	2		
	市民参画	B	3	× 1	3		
総合評価点数					59		

総合評価	総合評価内容	総合評価判定基準 (得点率)	
A	そのまま存続	90%	以上
A-	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続、併せて老朽改善策を検討すべき施設		
B	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続	80%	以上90%未満
B-	管理運営方法の見直しを行ったうえで存続、併せて老朽改善策を検討すべき施設		
C	管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続	60%	以上80%未満
C-	管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続、併せて老朽度に鑑みて移転・統合を検討すべき施設		
D	施設の用途変更を含め市が保有する必要性があるかを検証し、施設の設置目的や財産の用途の変更など、有効活用策を検討すべき施設	20%	以上60%未満
D-	施設の用途変更を含め市が保有する必要性があるかを検証し、施設の設置目的や財産の用途の変更など、有効活用策を検討すべき施設、老朽度に鑑みて将来的に閉鎖を検討		
E	公の施設等としてではなく、統廃合や民間譲渡等廃止を検討すべき施設	20%	未満
E-	公の施設等としてではなく、統廃合や民間譲渡等廃止(閉鎖)を検討すべき施設		

※残存する法定耐用年数が5年未満または旧耐震基準建築の場合は、「-」（マイナス）判定となります。

総合評価コメント「施設のあり方方針」	公の施設としての見直し案
管理運営主体の変更をはじめとした運営方法を抜本的に見直したうえで存続、併せて老朽度に鑑みて移転・統合を検討すべき施設	